

平成26年4月のサポート終了後にWindows XPを使用することの危険性

1 現状

- ・平成26年4月9日に、Windows XP、Office 2003、Internet Explorer 6に対するマイクロソフト社によるサポートが終了し、セキュリティ更新プログラムや技術情報のアップデートなどの提供も終了します。
- ・同社の調査によれば、平成25年9月現在、Windows 搭載PCのうち、Windows XPの世界的なシェアは21%と依然高い状態にあるとのことです。また、総務省が全国自治体に対して実施した調査によれば、自治体の全PC約203万台のうち、26万6000台(13.1%)がサポート期間内に後継OSに更新できない可能性が高いことが判明（平成25年11月22日総務大臣記者会見）し、情報セキュリティ上の重大な問題であることが改めて認識されるとともに、ビジネス分野においてもいまだに使用されている状況の一端が明らかとなりました。

2 継続使用のリスク

- ・サポート終了日以降、Windows XPに関してPCに存在する脆弱性（=ソフトウェアの欠陥）やバグに対して、マイクロソフト社からの新たなセキュリティ更新プログラムが一切提供されなくなることから、Windows XP搭載のPCはセキュリティ上の大きな脅威にさらされることとなります。つまり、Windows XPが搭載されているPCでインターネットを利用し続けていると、コンピュータウイルスや不正アクセスの攻撃に遭い、
 - PCが乗っ取られ、遠隔で操作されてしまう
 - PC内の情報が流出してしまう
 - 他のPCやサーバーに対して攻撃を行う踏み台として悪用されてしまう
 - パスワードが盗まれ、インターネットバンキングで不正な送金の被害を受けてしまうなどの危険が極めて高くなります。
- ・たとえ、ウイルス対策ソフトウェアのパターンファイルを最新に保ち、アプリケーションソフトウェアを最新状況に保っていても、Windows XP自体の脆弱性を悪用する攻撃に対しては、能力を発揮できない可能性があります。複数のPCを接続している社内ネットワーク等の中で、1台でもWindows XPを搭載しているPCがある場合は、OSのサポートが提供されている他のPCに対しても脆弱性を悪用した攻撃の影響が及ぶおそれがあります。

3 対策

- ・メーカーによるサポートが提供されているOSを使用してください。Windows XPの場合は、サポート終了までに、後継OSへのアップグレードをしてください。やむを得ず、Windows XPを継続使用せざるを得ない場合は、インターネットに接続することや、USBメモリー等の外部記録媒体を接続することは避けてください。
- ・個別具体的な対策に関する相談は、「独立行政法人情報処理推進機構」が開設している「情報セキュリティ安心相談窓口(<http://www.ipa.go.jp/security/anshin/index.html>に記載の各連絡先)」にて受け付けています。

[参考] ※アドレスは平成25年12月4日時点のもの

情報処理推進機構(IPA)

- ・よくある相談と回答(FAQ) : Windows XPのサポート終了

<http://www.ipa.go.jp/security/anshin/faq/faq-xp.html>

日本マイクロソフト株式会社

- ・Windows XPとOffice 2003をご利用のお客様へサポート終了の重要なお知らせです
http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/lifecycle/xp_eos/consumer/default.aspx

- ・Windows XP, Office 2003サポート終了の重要なお知らせ > よくあるご質問
http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/lifecycle/xp_eos/faq.aspx